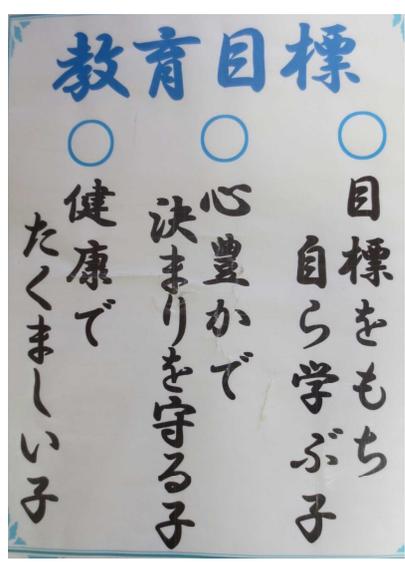
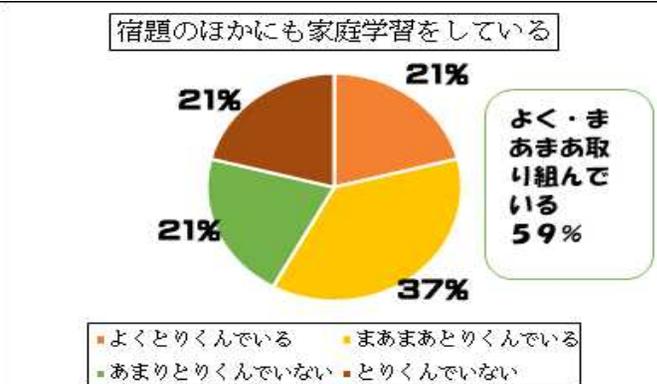
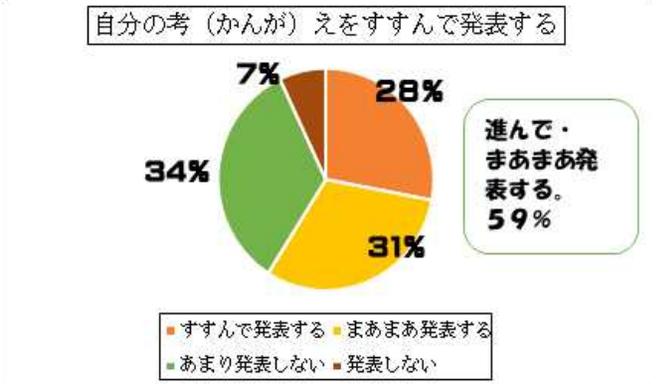


# 「百名っ子メーター」 教育目標の取り組み



(学校教育目標)  
目標を持ち自ら学ぶ子  
心豊かで決まりを守る子  
健康でたくましい子

令和2年7月8日  
第7号  
校長

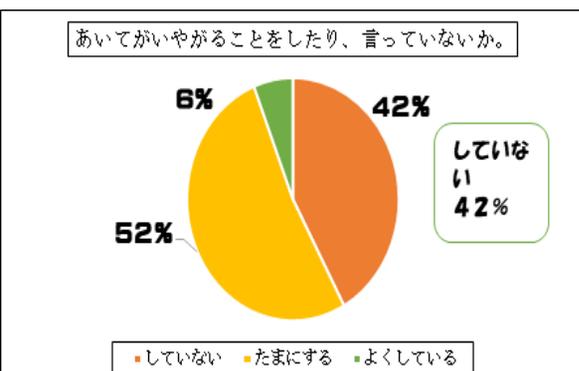
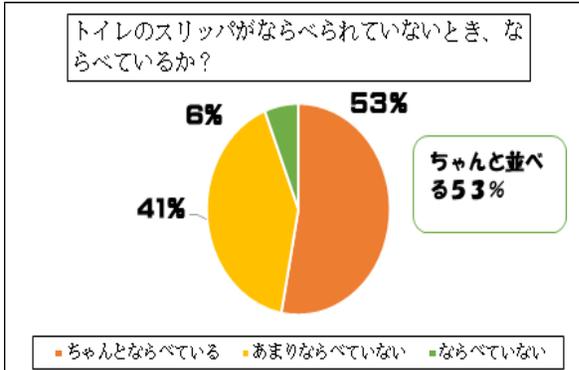


- 共通実践事項
- ①自分がやられて嫌なことはやらない・言わない。
  - ②立ち止まりあいさつ
  - ③靴箱の履物揃え
  - ④トイレのスリッパ並べ

各学校には、「教育目標」というものがあります。百名小学校では左記の三つの目標があり、今年、二年生以上に教育目標に係るアンケートを実施したのでその結果をお知らせします。今回は学習に関する結果をお知らせします。今(項)に関する結果をお知らせします。

## 校長室から

最近、苦野一徳という若手の教育学者の「教育の力」(講談社現代新書)という本を読みました。苦野さんは、既存の常識や知識が通用しない将来の変化に対しては、「意欲」「創造性」「柔軟な対人関係能力」などの能力が求められると指摘しています。また、心理学者H・ガードナーが分類する人間の8つの「知能」【①言語的知能②論理・数学的知能③空間的知能④身体運動的知能⑤音楽的知能⑥対人的知能⑦内省的知能⑧博物的知能】を引き合いに出し、人間は、8つの知能のうち1個の個人としてはそのうちの2～3つの知能が優れ、8つの知能全てに優れているわけではないそうです。学校という場合は、ややもすると①②の狭義の知能を「学力」という言葉で捉え過ぎてはいないかと反省しました。教科の中に、体育や音楽・図工があることの意味、集団生活で学ぶことの意味を改めて考えさせられました。私見として、狩猟採集の時代なら、身体運動的知能と対人的知能の能力が高い人がリーダーとなったのではないかと思います。苦野さんは、興味・関心・8つの知能適正が異なる子ども達の教育には「個別学習」が望ましいと言っています。その通りだと思います。が、限られた人材の中でどのように個別に対応できるかは大きな課題です。



共通実践事項のうち、②の「立ち止まりあいさつ」の靴箱の履物揃えは、十分できています。④の「トイレのスリッパ並べ」も自分が使ったスリッパを並べるのはできています。学習においても先生や友達の話を聞くこともできていますが、目標の「自ら学ぶ」姿の一つである進んで発表や自主学習の数値、「心豊か」な姿である並んでないスリッパを進んで並べるようになると思えます。晴らしい百名っ子になると、本当に素



敵が徳り自るれう写はんいットまるり分  
で増を組然のるに真約でなパイすこッが  
すえ積みなでた、の半並いがレ。とパ使  
るむる形はめ褒子数べ時並のしがをつ  
とーでいにめの。る、ンスかで並たは  
素子隠取、すらよ左子進でりしきベス自

百名小スナップ写真館



七月六日より、百名小  
に新しい職員として、  
学習支援員の先生が配  
属されました。算数の  
授業を中心に各学級の  
授業を支援する予定です。  
ま、このままでも、  
のや、このままでも、  
くお願ひします。

## 学習支援員